

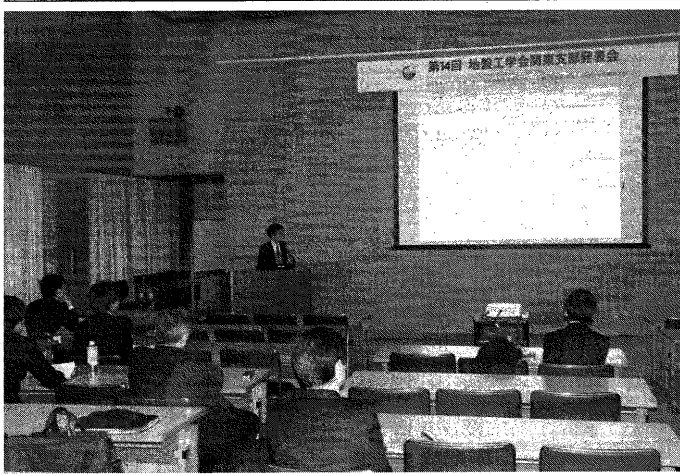
地盤工学会 発表会に300人参加 県事業紹介や基調講演

第14回地盤工学会関東支部発表会が17日、宇都宮市の県総合文化センターで開かれた。当日は建設関連業者のほか、行政、大学、研究所、学生

等、産官学から約300人が参加した。

地盤工学会関東支部で

は、社会へのより一層の貢献を目指し、一般からの参加を促すプランを加



宇都宮で開かれた研究発表会

えた関東支部研究発表会を、24年度の第9回から28年度の第13回まで、東京の日本科学未来館で開催。今回はこのコンセプトを継承しつつ、東京から会場を離れ、宇都宮市で行った。

の共催による、栃木県セッションを開催。県の行政が取り組む事業の動向、地盤に関連した自治体の取り組み、関東支部栃木会の活動などの発表が行われた。

当日は、会場内の各会議室で、防災・材料・環境・構造などをテーマに一般発表を実施。各発表とも解説にスライドなどを活用し、参加者は熱心に聞き入っていた。発表会終了後には、意見交換会も行われた。

このほか発表会では、関東支部研究発表会の活動報告に加え、開催地の情報発信を行う特別企画も実施。江連隆信県土整備部長による「日光・会津・上州歴史街道対流圏の強化プロジェクト」と題した基調講演や、関東支部と関東支部栃木会と